実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 7 年度
助成団体	鹿児島県瀬戸内町
間接助成団体	瀬戸内町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
事業細目名	総合型地域スポーツクラブ創設支援
事業名	瀬戸内町総合型地域スポーツクラブ創設支援事業
助成金額	738,000 円

令和 7 年度総合型地域スポーツクラブ活動助成（創設支援事業）で鹿児島県瀬戸内町の間接助成団体である「瀬戸内町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会」（以下、設立準備委員会という。）が行っている「瀬戸内町総合型地域スポーツクラブ創設支援事業」の実施状況について調査を行いました。

設立準備委員会は地域の子ども達のために総合型地域スポーツクラブを設立したいという思いから発足をしたとのことです。

調査当日は、バスケットボール教室が開催されており、 2 日間にわたりトップアスリートを講師に招いて実施しておりました。調査時は中学生を対象に 2 日目の開催となっており、約 30 名の参加者によって講師への質問などをしながらバスケットボールの技術力向上に励んでいる様子が伺えました。前日には小学生を対象とした内容で約 40 名の参加者が集まったそうです。また、地元メディアも教室の開催について取り上げており、地域全体が設立準備委員会の展開に期待しているようでした。

■助成の意義

くじ助成を受けたことで、講師の旅費や謝金、スポーツ用具に充当することができたそうです。これにより、トップレベルの指導者を招くことができ、参加者の増加やイベントの質の向上につながったとのことです。

9 月にトップアスリートを講師として招き開催されたバレーボール教室では、約 50 名の参加者が集まり、地域のスポーツ活動への関心がさらに高まっているそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

SNS や新聞での広報活動を行い、周知を図っているそうです。元々、スポーツ活動が盛んな地域であり、競技ごとのタテの繋がりが強いという特徴を生かし、各競技団体や学校、地域との連携を通じて、ヨコの繋がりをさらに強化できるよう努めているそうです。また、イベント終了後のアンケート調査を通じて、参加者のニーズを把握しているとのことです。今後は少年団コーチを指導者として取り入れることも視野に入れ、子ども達のための総合型地域スポーツクラブづくりを進め、将来的には多世代にわたり活動の範囲を広げていきたいそうです。

■所感

今回の調査を通じて、地域のスポーツ環境整備に向けた強い意欲が感じられました。また、指導者間のコミュニケーションや連携強化についても主体的に取り組んでいき、子ども達だけではなく高齢者が参加できるような活動も行っていきたいといった展望も伺うことができました。

今後の総合型クラブ設立に向け、地域住民や行政との連携を通じて幅広い年代がスポーツを楽しめるクラブとして発展していくことを期待しています。

（令和 7 年 10 月 19 日往査）

（写真）バスケットボール教室の様子（※写真提供：鹿児島県瀬戸内町）	
	